

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第28作成期 (2025年11月27日から2026年5月26日まで)

第 163 期 / 第 164 期 / 第 165 期
決算日2025年12月26日 決算日2026年1月26日 決算日2026年2月26日

第 166 期 / 第 167 期 / 第 168 期
決算日2026年3月26日 決算日2026年4月27日 決算日2026年5月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2032年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 Kインディア・インカム・ファンド (クラスG) 米ドル建て等のインドの債券等 コタック・フレキシ・デット・ファンド (クラスA) インドルピー建ておよび米ドル建て等のインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

インド債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
139期 (2023年12月26日)	4,479	25	△1.8	96.7	24,218
140期 (2024年1月26日)	4,630	25	3.9	97.4	24,898
141期 (2024年2月26日)	4,718	25	2.4	96.6	25,312
142期 (2024年3月26日)	4,710	25	0.4	95.1	25,183
143期 (2024年4月26日)	4,791	25	2.3	97.0	25,508
144期 (2024年5月27日)	4,881	25	2.4	95.7	25,857
145期 (2024年6月26日)	4,959	25	2.1	96.7	26,239
146期 (2024年7月26日)	4,751	25	△3.7	97.3	24,963
147期 (2024年8月26日)	4,556	25	△3.6	97.1	23,950
148期 (2024年9月26日)	4,538	25	0.2	97.8	23,337
149期 (2024年10月28日)	4,713	25	4.4	96.9	23,938
150期 (2024年11月26日)	4,724	25	0.8	96.6	23,795
151期 (2024年12月26日)	4,729	25	0.6	96.8	23,425
152期 (2025年1月27日)	4,625	25	△1.7	97.1	22,514
153期 (2025年2月26日)	4,440	25	△3.5	96.7	21,152
154期 (2025年3月26日)	4,538	25	2.8	97.2	21,547
155期 (2025年4月28日)	4,380	25	△2.9	96.4	20,634
156期 (2025年5月26日)	4,365	25	0.2	96.5	20,525
157期 (2025年6月26日)	4,368	25	0.6	97.2	20,415
158期 (2025年7月28日)	4,389	25	1.1	96.9	20,291
159期 (2025年8月26日)	4,313	25	△1.2	95.2	19,751
160期 (2025年9月26日)	4,325	25	0.9	97.5	19,514
161期 (2025年10月27日)	4,493	25	4.5	96.5	20,061
162期 (2025年11月26日)	4,508	25	0.9	96.6	19,826
163期 (2025年12月26日)	4,420	25	△1.4	96.0	18,985
164期 (2026年1月26日)	4,388	25	△0.2	97.1	18,654
165期 (2026年2月26日)	4,365	25	0.0	95.6	18,317
166期 (2026年3月26日)	4,236	25	△2.4	95.1	17,549
167期 (2026年4月27日)	4,247	25	0.8	97.1	17,172
168期 (2026年5月26日)	4,125	25	△2.3	95.3	16,555

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

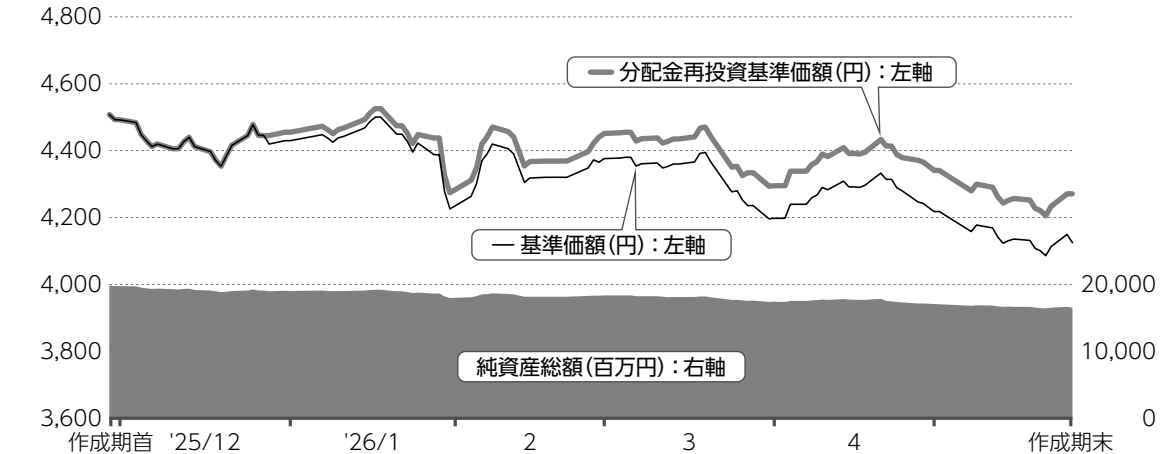
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第163期	(期 首) 2025年11月26日	円 4,508	% —	% 96.6
	11月末	4,492	△0.4	96.6
	(期 末) 2025年12月26日	4,445	△1.4	96.0
第164期	(期 首) 2025年12月26日	4,420	—	96.0
	12月末	4,430	0.2	96.0
	(期 末) 2026年1月26日	4,413	△0.2	97.1
第165期	(期 首) 2026年1月26日	4,388	—	97.1
	1月末	4,235	△3.5	97.0
	(期 末) 2026年2月26日	4,390	0.0	95.6
第166期	(期 首) 2026年2月26日	4,365	—	95.6
	2月末	4,376	0.3	95.5
	(期 末) 2026年3月26日	4,261	△2.4	95.1
第167期	(期 首) 2026年3月26日	4,236	—	95.1
	3月末	4,198	△0.9	94.9
	(期 末) 2026年4月27日	4,272	0.8	97.1
第168期	(期 首) 2026年4月27日	4,247	—	97.1
	4月末	4,218	△0.7	97.0
	(期 末) 2026年5月26日	4,150	△2.3	95.3

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2025年11月27日から2026年5月26日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,508円
作成期末	4,125円 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	-5.3% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかにについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年11月27日から2026年5月26日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。

実質組入外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- インドの長期金利(10年国債利回り)が上昇したものの、債券の金利収入などによりインドルピー建てインド債券市場が上昇したこと
- 米国の長期金利が上昇したものの、クレジットスプレッド(国債に対する上乗せ金利)の縮小や債券の金利収入などにより、米ドル建てインド債券市場が上昇したこと

下落要因

- 日銀の追加利上げやその後の為替介入への警戒感、インドの政策金利引き下げに伴う金利差の縮小などにより、インドルピー/円相場が下落したこと

投資環境について（2025年11月27日から2026年5月26日まで）

インドルピー建てインド債券市場と米ドル建てインド債券市場はともに上昇しました。
為替市場では、インドルピーは円に対して下落しました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。RBI（インド準備銀行）は政策金利を引き下げましたが、原油価格上昇によるインフレ圧力の高まりを背景に、CPI（消費者物価指数）上昇率は期中に大幅に上昇しました。政策スタンスは「中立」に維持されているなか、インフレ圧力の高まりなどを受けてインド国債利回りは上昇しましたが、債券の金利収入などにより、インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。

米ドル建てインド債券市場は上昇しました。米国債利回りは、期前半は概ね横ばいでの推移が続きましたが、2026年3月以降はイラン紛争に伴う原油価格上昇を背景としたインフレ懸念などを受けて大きく上昇しました。一方、クレジットスプレッドの縮小や債券の金利収入などにより、米ドル建てインド債券市場は上昇しました。

為替市場

インドルピーは対円で下落しました。

インドルピーは、原油高を受けた貿易収支悪化懸念などを背景に、米ドルに対して軟調に推移しました。米ドル/円相場は、期前半に日銀が利上げを決定しましたが、財政悪化懸念や日銀のハト派姿勢などを受けて円安基調となりました。為替介入観測で一時的に円高になる局面もありましたが、イラン紛争を受けた有事の米ドル買いや米国の金利上昇に伴い円安基調が継続しました。その結果、インドルピー/円相場は下落しました。

ポートフォリオについて（2025年11月27日から2026年5月26日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシリー・デット・ファンド(クラスA)」を高位に組み入れることにより運用を行い、組入比率(現金を除く)は期初の60%/40%から、期末には80%/20%へと変更しました。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。

また、実質的にインドルピー建てとなるよ

うに為替取引を行いました。デュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)は中程度に維持する方針としました。

コタック・フレキシリー・デット・ファンド (クラスA)

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。

RBIは金利緩和策を継続すると見込まれることから、デュレーションは長めを維持しました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心としました。

ベンチマークとの差異について（2025年11月27日から2026年5月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について（2025年11月27日から2026年5月26日まで）

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	(0.56%)	(0.57%)	(0.57%)	(0.59%)	(0.59%)	(0.60%)
当期の収益	21	22	21	22	23	20
当期の収益以外	3	2	3	2	1	4
翌期繰越分配対象額	556	554	550	548	546	542

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシィ・デット・ファンド(クラスA)」の高位組み入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。資産配分に関しては、デュレーションが中程度の米ドル建て債券ファンドに80%、デュレーションが長めのインドルピー建て債券ファンドに20%を配分しており、ファンドの信用リスクは引き続き抑制水準を維持する方針です。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

米国は足元では原油価格高止まりに伴うインフレ懸念が残るものの、景気下押し要因となるリスクもあり、F R B (米連邦準備制度理事会)は当面政策金利を据え置く見通しです。今後は原油価格の鎮静化とともに物価上昇圧力が和らぐと想定しており、長期金利は低下に向かうと予想します。このような見通しの下、デュレーションについては中程度に維持する方針です。

コタック・フレクシー・デット・ファンド （クラスA）

RBIは金利緩和策を継続すると見込まれ

ることなどから、インドルピー建て債券ファンドは長めのデュレーションを維持する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

- 「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」へ名称を変更することとなったため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2026年4月1日）

インド債券ファンド（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細（2025年11月27日から2026年5月26日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	23円	0.541%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は4,328円です。
（ 投 信 会 社 ）	(6)	(0.146)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.379)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.015)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 公 社 債 ）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（ そ の 他 ）	(－)	(－)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	23	0.542	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

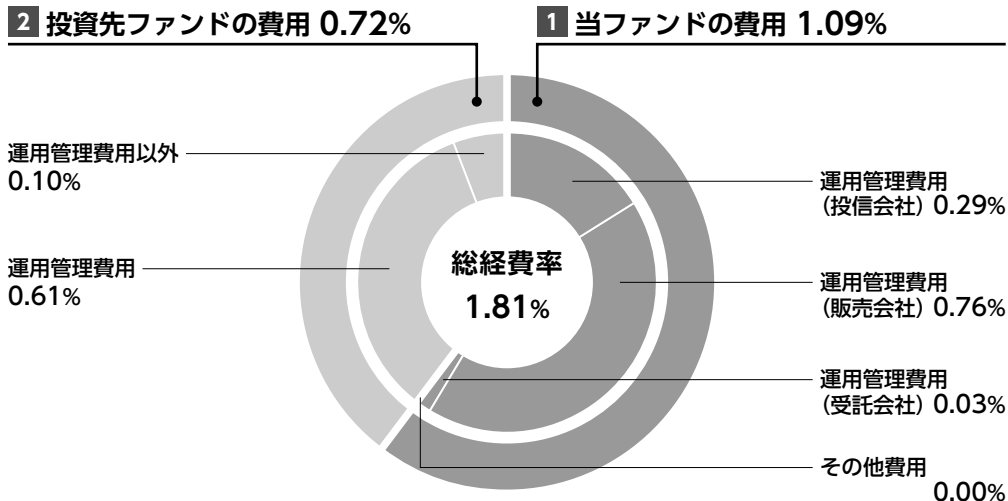
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)		1.81%
1	当ファンドの費用の比率	1.09%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

※ **1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.81%です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2025年11月27日から2026年 5 月26日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内		口	千円	口	千円
	K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	3, 001, 555	3, 740, 000	999, 619	1, 248, 000
	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	3, 488	75, 000	201, 043	4, 408, 000

※金額は受渡し代金。
※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年11月27日から2026年 5 月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。
※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2025年11月27日から2026年 5 月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2026年 5 月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	8, 808, 781. 372	10, 810, 717. 808	12, 895, 308	77. 9
コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	335, 934. 021	138, 379. 074	2, 886, 311	17. 4
合 計	9, 144, 715. 393	10, 949, 096. 882	15, 781, 620	95. 3

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産の構成

（2026年 5 月26日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	15,781,620	94.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	965,147	5.8
投 資 信 託 財 産 総 額	16,746,768	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2025年12月26日）（2026年 1 月26日）（2026年 2 月26日）（2026年 3 月26日）（2026年 4 月27日）（2026年 5 月26日）

項 目	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末	第168期末
(A) 資 産	19,182,514,891円	20,714,569,158円	18,476,340,145円	17,707,767,607円	19,430,627,528円	16,746,768,404円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	762,037,489	648,119,109	861,013,426	797,782,639	947,380,818	709,147,924
投 資 証 券（評価額）	18,234,477,402	18,110,130,552	17,507,435,810	16,681,984,968	16,673,246,710	15,781,620,480
未 収 入 金	186,000,000	1,844,000,000	—	228,000,000	1,810,000,000	256,000,000
未 収 配 当 金	—	112,319,497	107,890,909	—	—	—
(B) 負 債	197,335,360	2,060,308,963	159,119,345	158,158,053	2,258,484,809	190,987,644
未 払 金	—	1,844,000,000	—	—	1,810,000,000	—
未 払 収 益 分 配 金	107,374,021	106,276,684	104,911,001	103,567,585	101,081,508	100,340,020
未 払 解 約 金	72,422,496	92,181,989	37,034,098	39,192,622	330,367,627	75,879,524
未 払 信 託 報 酬	17,460,287	17,770,341	17,097,325	15,328,883	16,959,372	14,701,952
そ の 他 未 払 費 用	78,556	79,949	76,921	68,963	76,302	66,148
(C) 純 資 産 総 額（A－B）	18,985,179,531	18,654,260,195	18,317,220,800	17,549,609,554	17,172,142,719	16,555,780,760
元 本	42,949,608,630	42,510,673,865	41,964,400,523	41,427,034,217	40,432,603,508	40,136,008,261
次 期 繰 越 損 益 金	△23,964,429,099	△23,856,413,670	△23,647,179,723	△23,877,424,663	△23,260,460,789	△23,580,227,501
(D) 受 益 権 総 口 数	42,949,608,630口	42,510,673,865口	41,964,400,523口	41,427,034,217口	40,432,603,508口	40,136,008,261口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	4,420円	4,388円	4,365円	4,236円	4,247円	4,125円

※ 当作成期における作成期首元本額43,978,820,597円、作成期中追加設定元本額727,718,014円、作成期中一部解約元本額4,570,530,350円です。

※ 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※ 上記表中の受益権総口数および1 万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

	〔自2025年11月27日 至2025年12月26日〕	〔自2025年12月27日 至2026年1月26日〕	〔自2026年1月27日 至2026年2月26日〕	〔自2026年2月27日 至2026年3月26日〕	〔自2026年3月27日 至2026年4月27日〕	〔自2026年4月28日 至2026年5月26日〕
項 目	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
(A) 配 当 等 収 益	111,561,368円	112,400,412円	108,089,348円	108,101,340円	105,394,226円	98,168,974円
受 取 配 当 金	111,308,743	111,971,121	107,704,114	107,683,131	104,915,937	97,838,186
受 取 利 息	252,625	429,291	385,234	418,209	478,289	330,788
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 363,446,388	△ 125,226,467	△ 83,061,587	△ 521,496,993	56,425,593	△ 472,587,389
売 買 益	11,017,819	319,685	8,111,142	1,729,841	62,448,136	4,932,290
売 買 損	△ 374,464,207	△ 125,546,152	△ 91,172,729	△ 523,226,834	△ 6,022,543	△ 477,519,679
(C) 信 託 報 酬 等	△ 17,538,843	△ 17,850,290	△ 17,174,246	△ 15,397,846	△ 17,035,674	△ 14,768,100
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 269,423,863	△ 30,676,345	7,853,515	△ 428,793,499	144,784,145	△ 389,186,515
(E) 前期繰越損益金	△ 5,965,872,339	△ 6,253,223,086	△ 6,282,609,818	△ 6,255,764,007	△ 6,589,605,910	△ 6,469,723,191
(F) 追加信託差損益金	△17,621,758,876	△17,466,237,555	△17,267,512,419	△17,089,299,572	△16,714,557,516	△16,620,977,775
(配 当 等 相 当 額)	(2,405,508,993)	(2,367,713,654)	(2,325,740,850)	(2,282,362,061)	(2,217,001,057)	(2,194,094,249)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△20,027,267,869)	(△19,833,951,209)	(△19,593,253,269)	(△19,371,661,633)	(△18,931,558,573)	(△18,815,072,024)
(G) 合 計 (D + E + F)	△23,857,055,078	△23,750,136,986	△23,542,268,722	△23,773,857,078	△23,159,379,281	△23,479,887,481
(H) 収 益 分 配 金	△ 107,374,021	△ 106,276,684	△ 104,911,001	△ 103,567,585	△ 101,081,508	△ 100,340,020
次期繰越損益金 (G+H)	△23,964,429,099	△23,856,413,670	△23,647,179,723	△23,877,424,663	△23,260,460,789	△23,580,227,501
追加信託差損益金	△17,635,110,372	△17,477,964,117	△17,281,508,318	△17,100,163,663	△16,721,340,132	△16,637,916,921
(配 当 等 相 当 額)	(2,392,157,497)	(2,355,987,092)	(2,311,744,951)	(2,271,497,970)	(2,210,218,441)	(2,177,155,103)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△20,027,267,869)	(△19,833,951,209)	(△19,593,253,269)	(△19,371,661,633)	(△18,931,558,573)	(△18,815,072,024)
繰 越 損 益 金	△ 6,329,318,727	△ 6,378,449,553	△ 6,365,671,405	△ 6,777,261,000	△ 6,539,120,657	△ 6,942,310,580

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
(a) 経費控除後の配当等収益	94,022,525円	94,550,122円	90,915,102円	92,703,494円	94,298,892円	83,400,874円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,405,508,993	2,367,713,654	2,325,740,850	2,282,362,061	2,217,001,057	2,194,094,249
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,499,531,518	2,462,263,776	2,416,655,952	2,375,065,555	2,311,299,949	2,277,495,123
1 万口当たり当期分配対象額	581.97	579.21	575.88	573.31	571.64	567.44
(f) 分配金	107,374,021	106,276,684	104,911,001	103,567,585	101,081,508	100,340,020
1 万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税引前)	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	純資産総額に対して年0.64%程度* *上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」をシェアクラスとして含む「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2025年 9 月30日に終了した期間)

(単位：米ドル)

投資収益	
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	3, 558, 130
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純損益	308, 792
デリバティブに係る純損益	(3, 564, 003)
投資収益合計	302, 919
費用	
管理事務代行報酬	14, 495
運用報酬	470, 544
保管報酬	15, 952
専門家報酬	33, 247
その他費用	25, 471
監査報酬	18, 000
規制関連報酬	1, 362
為替に係る純損失	278, 171
費用合計	857, 242
金融費用控除前投資純損益	(554, 323)
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	10, 526, 006
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(11, 080, 329)

■ 組入上位銘柄

(基準日：2025年 9 月30日)

銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1 Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/02/13	8.8%
2 EXIM Bank 5.50% 18/01/2033	USD	5.500%	2033/01/18	8.4%
3 Ultratech Cement 2.80% 16/02/2031	USD	2.800%	2031/02/16	6.5%
4 State Bank of India London 4.50% 09/09/2030	USD	4.500%	2030/09/09	6.5%
5 TML Holdings PTE LTD 4.35% 09/06/2026	USD	4.350%	2026/06/09	6.2%
6 Rural Electrification Corporation 5.625% 11/04/2028	USD	5.625%	2028/04/11	6.1%
7 Power Finance Corporation 3.95% 23/04/2030	USD	3.950%	2030/04/23	5.8%
8 Muthoot Finance 7.125% 14/02/2028	USD	7.125%	2028/02/14	5.3%
9 Perima Holdings LLC 5.95% 19/04/2026	USD	5.950%	2026/04/19	4.7%
10 HDFC Bank 5.18% 15/02/2029	USD	5.180%	2029/02/15	4.0%
全銘柄数			24銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシィ・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	純資産総額に対して年0.64%程度* *上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシィ・デット・ファンド（クラスA）」をシェアクラスとして含む「コタック・フレキシィ・デット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2025年 3 月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

投資収益	
利息収入	4, 044, 933
損益を通じて公正価値で測定される金融資産にかかる純損益	(463, 262)
為替にかかる未実現純損益	(124, 380)
	3, 457, 291
費用	
投資運用報酬及び保管報酬	332, 303
弁護士報酬	3, 500
その他の営業費用	23, 435
管理事務代行報酬	20, 000
監査報酬	15, 000
専門家報酬	24, 398
規制関連報酬	8, 360
営業費用合計	426, 996
税引前償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額	3, 030, 295
所得税控除	(339, 589)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額	2, 690, 706

■ 組入上位銘柄

(基準日：2025年 3 月31日)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	組入比率
1	7.25% GOI 12/06/2063	INR	7.25%	2063/ 6 /12	25.3%
2	7.34% GOI 22/04/2064	INR	7.34%	2064/ 4 /22	19.8%
3	5.77% GOI 03/08/2030	INR	5.77%	2030/ 8 / 3	19.3%
4	7.18% GOI 24/07/2037	INR	7.18%	2037/ 7 /24	13.0%
5	7.25% INDIAN OIL LTD 06/01/2030	INR	7.25%	2030/ 1 / 6	8.5%
6	7.30% GOI 19/06/2053	INR	7.30%	2053/ 6 /19	4.4%
7	7.26% GOI 06/02/2033	INR	7.26%	2033/ 2 / 6	3.5%
8	7.75% HDFC Bank (earlier Housing Development Finance Corporation Limited) (SR US006) 13/06/2033	INR	7.75%	2033/ 6 /13	2.7%
9	7.59% THDC India Limited 03/10/2026	INR	7.59%	2026/10/ 3	2.6%
10	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026	INR	9.46%	2026/ 8 / 1	0.2%
	全銘柄数			11銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。